資料7

2026 年 10 月 5 日

幹事会

委員各位

幹事長　増田昌人

昨年度および今年度の審議事項のその後について

＜令和 7 年度第 1 回連携協議会(5 月 9 日開催)＞

審議事項 2 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん種ごとの診療目標について(離島・へき地部会所掌)

・天野委員より、特に地域で実際に医療を受ける患者さん、ご家族の方の理解を得ていただくことが重要、患者会には個別に説明が必要とのご意見を頂く。

➡(昨年度)北部医療圏に対して、①名護市の渡具知市長はじめ 4 名に対して説明、②患者会に説明、③一般市民向け講演会を行った。宮古医療圏に対して、①宮古島市砂川副市長ら 4 名に対して説明、②患者会に説明、③一般市民向け講演会を行った。八重山医療圏に対して、①市民保健部長、 保健福祉センター長に対して説明、②患者会に説明、③一般市民向け講演会を行った。

➡北部、宮古、八重山医療圏において、①名護市、宮古島市、石垣市長及び担当部署への説明会、②患者会への説明会、③市民向け説明会を企画しており、それぞれ日程調整中である。

審議事項 4 各市町村に対する「若年がん患者等支援事業」への参加の働きかけについて(小児・AYA 部会及び離島・へき地部会所掌)

・原案通り、承認された

➡(昨年度)この制度を導入していない 34 市町村に対して、依頼文書を送付した。その後開催された、小児・AYA 部会において、毎回検討を行っている。

➡今年度も、小児・AYA 部会において毎回検討を行い、沖縄県からも積極的に各市町村に働きかけをすることになった。

＊上記以外の昨年度の連携協議会の審議事項に対する決定事項や決議については、昨年度中におおむね対応している

＜令和8年度第1回連携協議会(5月8日開催)＞

審議事項1「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の中間評価について(ベンチマーク部会所掌)

・進捗状況の説明のみで決議事項はなし

➡(前回)各専門部会において、それぞれの所掌分野について、協議を重ねている。

➡下記の第2回連携協議会の審議事項7にまとめて記載

＜令和8年度第 2 回連携協議会(8月7日メール開催)＞

審議事項1　連携協議会委員の追加について(幹事会所掌)

・原案通り可決された。

➡浜田 聡氏(琉球大学病院小児科講師)と関根 正幸氏(琉球大学病院産婦人科教授)が、新委員として、次回連携協議会に出席予定である。

審議事項2「沖縄県がん登録事業報告の集計方法」に関する要望書の提出について(又吉委員提出)

・原案通り可決された。

➡9月に、議長名で、沖縄県保健医療介護部長宛てに、要望書を送付した。

審議事項3 「がん診療を行う医療施設一覧の掲載要件」⑩肺がん分野の選定要件の修正について（医療部会及びベンチマーク部会所掌）

・原案通り可決された。

➡9月に、沖縄県保健医療介護部に修正を依頼し、その後修正が行われた。

審議事項4 「がん診療を行う医療施設一覧の掲載要件」③甲状腺がん、⑪骨・軟部腫瘍、⑰小児がん分野の症例数の緩和について（医療部会及びベンチマーク部会所掌）

・原案通り可決された。

➡9月に、沖縄県保健医療介護部に修正を依頼し、その後修正が行われた。

審議事項5 「がん診療を行う医療施設一覧の掲載要件」⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑰小児がん、⑱AYA世代のがん、 ⑳遺伝性腫瘍分野の選定要件の明確化について（医療部会及びベンチマーク部会所掌）

・原案通り可決された。

➡9月に、沖縄県保健医療介護部に修正を依頼し、その後修正が行われた。

審議事項6 「がん診療を行う医療施設一覧の掲載要件」肝胆膵分野を、⑦肝臓がん、 ⑧胆道がん（胆のう・胆管）、⑨膵臓がん分野に分けることについて（医療部会及びベンチマーク部会所掌）

・原案通り可決された。

➡9月に、沖縄県保健医療介護部に修正を依頼し、その後修正が行われた。

審議事項7 「第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の中間評価について（ベンチマーク部会所掌）

・進捗状況の説明のみで決議事項はなし

➡(前回)各専門部会において、それぞれの所掌分野について、協議を重ねている。

➡各専門部会にて、協議を重ねている。離島・へき地部会では「個別施策評価シート」へ順次意見を書いてもらい、中間評価を行っている最中である。今月中には、順次そのほかの部会でも同様に行う予定である。